

# 淡路島 兵庫県



眼下に広がる緑が鮮やかな玉ねぎ畑のパノラマと、陽光をたっぷり浴び育つ新玉ねぎ（下）



兵庫県立「あわじ花さじき」

放流用のマダコ。明石海峡で大きく育て！



音と風と飛沫で体感「鳴門の大渦」。淡路島を背に撮影



文・撮影／高野 弘・水中・水辺  
のフォトジャーナリスト。高知  
県出身、大阪府豊中市在住。国  
内外の水中・水辺をテーマに撮  
影。国内外の新聞・雑誌・広告  
などに掲載・採用される他、マ  
レーシア、香港、中国など在日  
の各國政府観光局からの撮影  
取材依頼も多数執筆や公演も  
手掛け、加えて自らが作詞・作  
曲した歌に乗せて「自然の尊さを  
ギターで弾き語る「高野弘フオ  
トコンサート」も主催するなど  
多彩。（検索：アクアイメージ）

タコとタマネギの魅惑の島  
「ウア～、吸いつかれた！」早く  
海に放そう！あちこちで奇声が挙  
がる。初めての稚タコの放流体験は、  
地元小学校の子供達の里海学習。兵  
庫県のタコと言えば「明石タコ」が  
有名。明石とは明石海峡で陸は離  
れているが、海はつながっている。流  
れの速い海峡周辺で育ったこの地の  
タコも、身が引き締まり味もいい。

瀬戸内式気候で少雨のため、  
2万3000もの農業用ため池があ  
る。そして、これを利用して栽培さ  
れる玉ねぎが淡路のイメージと定  
着している。新玉ねぎの旬は3月  
下旬～4月初旬。訪ねると整然と区  
画された畑全体を埋め尽くしてい  
た。甘味さえ感じる新玉ねぎを求め  
て、わざわざ県外客が足を伸ばすほ  
ど。緑豊かな森と青い海を背景に、  
色鮮やかに咲く花畠、県立「あわじ  
花さじき」も人気だ。

季節ものと言えど、鳴門海峡の渦  
潮もそうで、特に大潮の時は迫力満  
点。インバウンド誘致にもつながる  
世界自然遺産への登録の願いも強  
い。海と島の魅力を存分に活かした  
今後の発展が楽しみだ。